

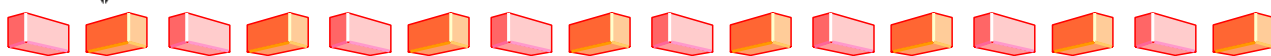
みちした



令和7年7月14日

魚津市立道下小学校

↑学校ウェブサイトはこちらからどうぞ



1学期も残すところ10日程となり、子供たちは1学期のまとめの時期を過ごしています。友達とともにがんばってきた学習や生活を振り返り、自分の成長に気付いたり、友達と確かめ合ったりするよい機会となるよう支援していききたいと思います。

登下校時の熱中症対策について

熱中症対策について、学校における取組を6月の学校便りでお知らせしましたが、登下校時の熱中症も心配されるところです。登下校時には、次のような熱中症対策のグッズを使用してもかまいません。お子さんと相談いただき、使用するかどうかについてご判断ください。

・ネッククーラー ・冷感タオル ・日傘 ・アームカバー など

◎熱中症対策用のグッズを使用する場合は、下校時までランドセルに入れておくなど、子供たち自身で管理できるよう、ご家庭でも言葉かけをお願いします。

◎冷蔵、冷凍の必要のあるものについては、個別の対応が難しいためお控えください。

また、電池式等、破損の可能性があるグッズ、破損して困る高価なもの等についてもお控えください。

※登下校時にマスクを着用したままの子供も見受けられますので、体調不良等によりマスクを持たせる際には、学校に到着してから着用するよう、声がけください。



熱中症に負けない体づくりの大切さ

こまめな水分補給や服装の工夫等も大切な対策ですが、熱中症に負けない体づくりの取組も大切です。こども家庭庁のウェブサイトには次のように紹介されています。2学期の始業式に合わせて、夏休み中の生活の仕方にも気を付けることができるよう、ご家庭でもご配慮ください。

十分な睡眠と食事を摂りましょう。

- ・熱中症を予防するためには、暑さに負けない体づくりが大切です。
- ・日頃から適度な運動、適切な食事、十分な睡眠を心がけましょう。
- ・睡眠環境を整えることで、寝ている間の熱中症を防ぐと同時に、翌日の熱中症予防につながります。

熱中症予防のポイント

- ・日頃から、栄養バランスのよい食事や適度な運動を通して、暑さに負けない体づくりをしましょう。普段から徐々に暑さに身体を慣れさせましょう。

全校登校日の取りやめについて

本校では、例年8月後半に全校登校日を設けておりました。しかしながら、近年の猛暑を考慮し、8月中の登下校を避けるため、今年度より夏休みの全校登校日を取りやめることとしました。

夏休み終盤の登校日がなくなること、次のようなことが心配されます。

- ・課題、宿題の進捗状況の確認ができないことで、夏休みの課題が終わらない・・・
- ・生活リズムが乱れた状態で、2学期の始業式を迎えてしまう・・・

各家庭におかれましては、子供たちが規則正しく生活できるよう、また課題に計画的に取り組むことができるよう、これまで同様にお子さんへの言葉かけ等を行ってくださいますようお願いいたします。



シリーズ ～子供たちの学びを考える①～

本校では、子供たちに付けたい力を明確にして、日頃の授業改善に取り組んでいます。今回は、6年生、5年生、2年生の取組を紹介します。

6年生理科「食べ物をととした生き物のかかわり」

子供たちが自ら課題をもち、主体的に学ぶ力を育成するため、生き物のかかわりについて子供主体で調べ学ぶ学習を行いました。

授業のポイント

- ・子供自らが課題を設定し、学習の方法やまとめの仕方を自己決定しながらレポートを作成しました。
- ・タブレット端末で、クラウドを活用して友達の追究を参照したり、自分のタイミングで対話したりしながら学びました。
- ・毎時間、自分の学び方について振り返る機会を設定したことで、自らの学びを調整しようとする姿が見られました。



6年生図画工作科「ゆらめきファンタジーワールド」

技能面が重視されがちな図画工作科において、活動そのものを楽しんだり、出来上がった世界を味わったりする造形遊びに取り組みました。

授業のポイント

- ・光と水を組み合わせ、ゆらめきの美しさを感じ取る学習。
- ・活動場所を暗幕で暗くし、ダイナミックに活動することができるよう、また光の美しさがより味わえるよう工夫しました。
- ・他の学習と同様に「対話的な学び」を通して互いの取組のよさや工夫を共有し、「振り返り」を行い自分の取組をよりよいものにしていこうとする姿が見られました。



5年生国語科「筆者の考えを知り、文章の要旨をとらえよう『見立てる』」

文章を読んで、筆者の考えを知り、文章の要旨をとらえることができるよう、子供たちが「対話的な学び」を設定した学習に取り組みました。

授業のポイント

- ・説明的な文章で、筆者が自分の考えを伝えるために「あや取り」を例にして説明した理由を子供たち自身が考えました。
- ・一人一人の考えを出し合い対話的に学ぶことで、子供たちは筆者のねらいや論の進め方の工夫に気付いていきました。
- ・実際にあや取りの形を何かに「見立てる」活動に取り組んだことで、子供たちの理解が深まる様子が印象的でした。



2年生算数科「長さをはかってあらわそう」

子供たち一人一人が、「長さ」について問題をもち、その問題を解決していくことができるよう、対話のあり方を工夫した授業に取り組みました。

授業のポイント

- ・「cm」の単位の必要性に気付くよう、各自がいろいろなものを使って「何個分」と表して比べる活動を設定しました。
- ・グループや全体での話し合いを通して、「共通の単位が必要だ」ということに気付く子供の姿が見られました。
- ・「cm」を教えてもらう前に、対話によってその必要性に気付いていく子供たちの姿が見られました。

